

## 志賀原子力発電所 使用済燃料輸送の終了について

平成13年7月6日  
北陸電力株式会社

平成13年度第2四半期に予定しておりました志賀原子力発電所の使用済燃料の輸送を、下記のとおり終了いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 輸送終了日（再処理工場への到着日）  
平成13年7月6日（金）
2. 輸送品の名称及び数量  
志賀原子力発電所使用済燃料 64体（約11トンU）  
（使用済燃料輸送容器 2基）
3. 搬出先施設名  
日本原燃株式会社六ヶ所再処理工場  
使用済燃料受入れ・貯蔵施設

以上

## 1. 輸送実績

### (1) 空容器の搬入

平成 13 年 5 月 28 日(月)

### (2) 使用済燃料の搬出(志賀原子力発電所)

7 月 2 日(月) 6 時 2 5 分 輸送船接岸

9 時 2 7 分 輸送容器荷役開始

1 0 時 0 2 分 輸送容器荷役終了

1 2 時 4 0 分 輸送船離岸

### (3) 再処理工場への搬入(むつ小川原港、日本原燃受入れ・貯蔵施設)

7 月 6 日(金) 6 時 2 0 分 輸送船接岸

1 0 時 2 2 分 輸送容器荷役開始

1 3 時 4 3 分 輸送容器荷役終了

1 5 時 1 0 分 陸上輸送開始

1 5 時 5 5 分 陸上輸送終了(受入れ・貯蔵施設への到着)

## 2. 使用済燃料輸送時の安全対策

### (1) 輸送物の安全対策

- a. 本輸送には、関係法令の技術上の基準に適合している使用済燃料輸送専用の輸送容器を使用しました。
- b. 使用済燃料を充填した輸送容器(輸送物)の安全性を確認しました。

### (2) 陸上輸送の安全対策

- a. トレーラーへの輸送容器積付時には、積載方法等についての安全性を確認しました。
- b. 輸送の実施に先立って道路状況を確認し、安全運行の徹底を図りました。
- c. 輸送にあたっては、先導車等を配備した輸送隊列を組み、運搬経路に見張り人を配置し、運搬中の安全を確保しました。
- d. 出発前には車両点検を励行し、運転手には十分な経験を有する者を配置しました。

### (3) 海上輸送の安全対策

- a. 輸送船には、使用済燃料輸送船として国で定めた技術基準に適合している専用船を用いました。
- b. 輸送船への輸送容器積付時には、積載方法等についての安全性を確認しました。
- c. 海上輸送にあたっては、気象状況、海象状況、航路標識等航行区域全般にわたって調査のうえ安全航行を行いました。

なお、関係法令に基づく関係省庁の安全輸送のための確認等を受け輸送を行いました。

### 3 . 輸送方法

輸送容器 2 基（使用済燃料 6 4 体）を、発電所構内から物揚場まで陸上輸送した後、専用の輸送船に積み付けて海上輸送しました。

### 4 . 輸送責任者（海上輸送）：原燃輸送株

### 5 . 輸送船名：六栄丸

（仕様） 全長：約 1 0 0 m  
幅：約 1 6 m  
載貨重量：約 3 0 0 0 t

### 6 . 輸送物の概要

種 類	B M型核分裂性輸送物
型 式	N F T - 3 2 B 型
寸 法	長さ 約 6 . 4 m 外径 約 2 . 4 m
重 量	1 0 6 t 以下
収納燃料体数	3 2 体 / 容器
放射能強度	1 5 2 P B q / 容器 以下

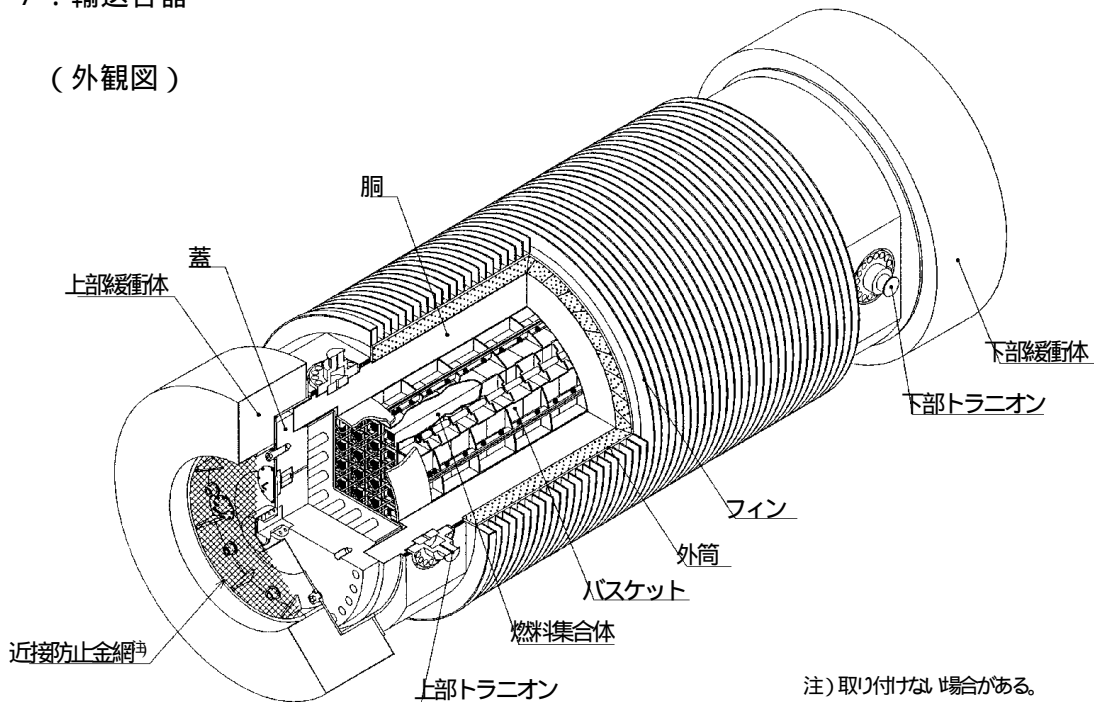
注 ) (1) N F T - 3 2 B 型：今回使用した輸送容器の型式名称

(2) P B q： $1 \times 10^{15}$  ベクレル

(3) 放射能強度は実績値

## 7. 輸送容器

(外観図)



## 8. 安全対策に係る主な基準

輸送物、輸送方法の安全性を満足するための基準は「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」、「船舶安全法」に定められており、主なものは次のとおり。

### (1) 線量当量率

- ・ 輸送車両の表面で  $2 \text{ mSv/h}$  以下
- ・ 車両から  $1 \text{ m}$  の位置で  $0.1 \text{ mSv/h}$  以下 等

(2) 以下の試験条件下において、輸送物の健全性が維持されるとともに、特別の試験条件下でも臨界の防止が確保されること。

#### 一般の試験条件

- ・ 水の吹き付け試験 ( $50 \text{ mm}$ /時の雨量に  $1$  時間)
- ・ 自由落下試験 ( $0.3 \text{ m}$  の高さから落下)
- ・ 積み重ね試験 (自重の  $5$  倍の荷重を  $24$  時間)
- ・ 貫通試験 (直径  $3.2 \text{ cm}$ 、重さ  $6 \text{ kg}$  の棒を  $1 \text{ m}$  の高さから落下)
- ・ 環境試験 ( $38$  で  $1$  週間)

#### 特別の試験条件

- ・ 落下試験 ( $9 \text{ m}$  の高さから落下)
- ・ 棒上への落下試験 (直径  $15 \text{ cm}$  の棒上に  $1 \text{ m}$  の高さから落下)
- ・ 耐火試験 ( $800$  度に  $30$  分)
- ・ 浸漬試験 (深さ  $15 \text{ m}$  に  $8$  時間)

以 上